

洋一中だより

～笑顔と学びあい～

- 〈知〉 経験を活かし、自主的実践的に問題を解決していく力を育てます
- 〈徳〉 互いの良さを認め合い、人を思いやる態度を育てます
- 〈体〉 自他の生命を大切にす心や健やかな体を育てます
- 〈公〉 よりよい社会を創造しようとする態度を育てます
- 〈開〉 持続可能な社会の実現に向けて行動しようとする態度を育てます

令和3年度 2月号
(令和4年2月1日発行)

横浜市立洋光台第一中学校
校長 仁平 浩史

横浜市磯子区洋光台二丁目5番地1号
電話 833-1270
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/yokodai1>

学校評価アンケートより

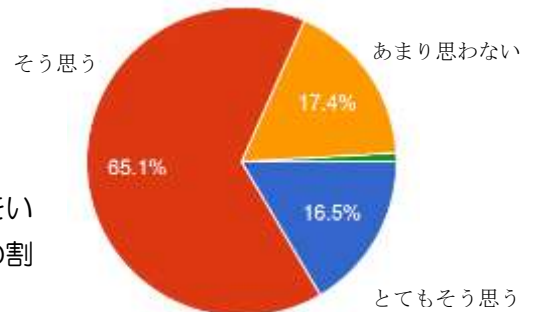
校長 仁平 浩史

年が明けて2022年が始まり1ヶ月が経ちました。一時落ち着いていた感染状況も新型コロナウイルスの影響で感染拡大防止に最大限に努めなければならない状況に戻ってしまっています。そのような中でも生徒たちは変わらず明るく、前向きに学校生活を送っています。制約の多い学校生活ではありますが、少しでも充実したものになるよう教職員一同工夫をしてまいりたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様の一層のご支援を頂ければ幸いです。

12月には学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご意見をもとに学校経営の改善を図っていきたいと思います。いくつか結果をお知らせします。

○お子様は、学校教育の目標「笑顔と学びあい」によって、生き生きと学校生活を送っていますか。

とてもそう思う	16.5%
そう思う	65.1%
あまり思わない	17.4%
思わない	1.0%



※そう思う、とてもそう思うを合わせて8割以上で肯定的評価をいただいています。否定的なものも2割近くあり、肯定的評価の割合は昨年度より少し下がっています。

○学校は生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、仲間とともに学ぼうとする態度を育てていますか。

とてもそう思う	11.2%
そう思う	55.1%
あまり思わない	29.9%
思わない	3.8%



※もっとも肯定的意見が少なかった項目です。昨年度も低めではありましたが、今年度はそれよりも下がっています。

昨年度と同様に概ね肯定的な評価はいただいています。コロナ禍2年目ということもあり、一昨年度より昨年度、そして今年度といくつかの項目について肯定的評価の低落傾向があります。学校なりにできることをやってきたとは思っていますが、コロナを言い訳にすべきでないとも言えます。来年度落ちてきている部分をどう回復していくか考えていきたいと思っています。これ以外では、「道徳の授業及び人権に関する時間」や、「保健・安全指導への取組」「環境美化への取組」で比較的高い評価をいただきました。

また、自由記述では「生徒の学校での様子が分からない」との意見をいただいています。学校ホームページの更新を進めていくとともに、コロナ禍における情報発信の在り方について考えていきたいと思っています。